

公衆衛生活動・研究論文の書き方研修プログラム

I. 目的：

一般目標：

公衆衛生活動・研究の立案から評価、さらに論文・報告書作成にいたる一連の過程を学習し、その技法と考え方を習得する。

個別目標:以下の 10 項目が理解できる。

1. 活動・研究計画書の構成

活動・研究計画の概要、活動・研究目的、対象者選択基準、活動・研究方法、調査項目、統計解析(予定対象者数を含む)、データ収集の手順、倫理的事項、活動・研究中止基準など、活動・研究組織、参考資料、実施要項

2. 活動・研究計画書の作成に必要な疫学の原理

疫学研究の考え方、研究デザイン、倫理

3. 実際の活動・研究計画書の作成

4. 活動・研究実施時(後)に起こる問題・限界点

バイアス・交絡、一般化可能性

5. 生物統計的な考え方

統計的推測、推定、95%信頼区間、検定の原理、標本数の設定

6. 基本的な検定手法

t 検定、カイ二乗検定、交絡調整(標準化)

7. SPSS を利用した検定・推定の実施

8. 保健医療分野における論文構成・表現法

9. 論文で使用する正しい図表の作成

10. 論文作成に必要な文献検索

II. 受講対象者：

公衆衛生活動の立案から評価までを行いたい人、および日本公衆衛生雑誌などに論文投稿しようと思っている人

III. 受講者の必要条件：

疫学(公衆衛生学)を学んだ経験がある。Windows が基本的に使用できる。Excel を使うことができる(数値入力、Excel 関数)。

IV. 人数：40 名くらい

V. 場所：滋賀医科大学マルチメディアセンター

VI. 日時：8 月 24 日(木)－8 月 26 日(土)

VII. 研修日程 (予定)

8月24日(木)

午後

講義・グループ分け

13:00-14:30 研修プログラムの説明、自己紹介

講義1:公衆衛生活動の計画・評価に必要な疫学知識

15:00-16:30 講義2:計画書の企画・論文作成に必要な生物統計手法

17:00-18:30 グループ分けの発表、課題発表

課題1:喫煙介入の評価(介入評価)

課題2:コレステロール低下の健康教室(介入評価)

課題3:高血圧者のプロフィール(断面研究)

課題4: ADL, QOL 調査 (断面研究)

8月25日(金)

午前

ワークショップ

9:00-10:30 ワークショップ(課題に基づいた研究計画の策定)

10:45-12:00 ワークショップ(課題に基づいた研究計画の策定)

午後

発表・SPSS 実習

13:00-14:30 グループ発表・講評

15:00-16:30 SPSSによる統計解析実習
(カイ二乗検定、t検定、推定)

17:00-18:30 カウンセリング

19:00 終了

8月26日(土) 論文の書き方

午前

9:00-10:30 講義3:論文作成法(論理的な表現法とは、投稿のマナー)

10:45-11:50 仮想例による悪い論文の改善法(演習)

12:00 解散

参加講師予定(滋賀医科大学)

上島弘嗣、岡村智教、喜多義邦、村上義孝、
宮松直美